

<b>ジチアノン水和剤</b> <b>デランフロアブル</b>	<b>取扱メーカー：</b> B A S F  <b>原体メーカー：</b> B A S F
<b>成分：</b> ジチアノン〔PRTR・1種〕……………42.0%	<b>性状：</b> 褐色水和性粘稠懸濁液体 <b>毒性：</b> 劇物 <b>消防法：</b> ——

### 【品目特性】……………

- 孢子発芽阻害力が大きい。
- 保護（予防）効果があり，残効性も長い。
- 果樹に用いた場合，果実に対する感染防止効果が長く続く。
- 葉や果実への付着性や耐雨性が良くなり，雨媒伝染性の病害に対し強力な保護効果が一層長期間に渡って持続するので，予防散布に好適。
- 粒径が小さくなり，葉や果実への付着が良く，また均一に被覆されるので，低成分量でも優れた防除効果を現す。
- 耐性菌が発生しにくく，他薬剤で効果が低下した病原菌にも安定した効果を示す。
- 散布液を調製する時に，粉立ちがなく皮膚への付着や吸入のおそれがない。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

### 【使用上のポイント】……………

- かんきつ，いちじくのそうか病の防除は，越冬病斑からの第一次感染防止期の発芽直後（4月上旬），春葉からの第二次感染防止期の落花直後の幼果期に散布する。
- かんきつ，りんごの黒点病に対しては，果実への感染期を中心に防除，積算降雨量が300mmを越えた時期が散布の目安となる。
- ぶどうの黒とう病に使用する場合は，発芽前～新梢伸長期に予防的に散布するのが効果的である。但し新梢伸長期の散布は葉に葉害を生じるおそれがあるので注意する。
- りんごのモニリア病に使用する場合，多発条件下では，所定希釈倍数内の高濃度で使用する。

### 【薬効・薬害等の注意】……………

- 石灰硫黄合剤，ボルドー液とは混用しない。
- 製剤での分離を防止するため，静置時は粘度が高く，振れば容易に粘度が下がるように処方されているので，必ず振ってから使用する。
- いちごに使用する場合は，新葉に葉害を生じるおそれがあるので注意する。
- 適用作物（かんきつ，ハウス栽培のなし）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 糖エステル型の浸透性展着剤の加用は葉害を生じるおそれがあるのでさける。

### 【安全対策上の注意】……………

- 蚕に対して影響があるので，周辺の桑葉にはかからないようにする。
- 散布の際は防護マスク，手袋，不浸透性防除衣などを着用する。
- カブレやすい体質の人は作業に従事しないようにし，施用した作物等への接触をさける。
- 夏期高温時の使用をさける。
- 施設内で使用する場合，十分に換気してから施設内に立ち入る。
- 魚類に強い影響を及ぼすおそれがあるので特に注意。
- 甲殻類に影響を及ぼすおそれがあるので注意。
- 散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。



# 【適用と使用法】 .....

作物名	適用病害名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用 方法	ジチアノンを含む 農薬の総使用回数
かんきつ	黒点病	1000～ 1500 倍	200～700 ℓ	30 日前まで	3 回以内	散布	3 回以内
	そうか病 炭疽病（さび果）	1000 倍		60 日前まで			
りんご	輪紋病	1000～ 2000 倍			60 日前まで		3 回以内
	モニリア病 斑点落葉病 黒星病 炭疽病						
	黒点病 褐斑病						
かき	炭疽病 落葉病 うどんこ病	2000 倍		90 日前まで	5 回以内		5 回以内
	せん孔細菌病	600～ 1000 倍		7 日前まで	4 回以内		4 回以内
もも	灰星病 ホモブシス腐敗病	600 倍					
	黒星病	600～ 1000 倍					
	縮葉病	1000 倍					
ネクタリン	せん孔細菌病	600～ 1000 倍		14 日前まで	2 回以内		2 回以内
	灰星病 ホモブシス腐敗病	600 倍					
	黒星病	600～ 1000 倍					
	縮葉病	1000 倍					
うめ	黒星病	1500～ 2000 倍		60 日前まで	4 回以内		5 回以内
	すす斑病	2000 倍					
なし	黒星病 黒斑病 輪紋病 赤星病 疫病 炭疽病 心腐れ症(胴枯病菌) 黒斑細菌病	1000 倍		落弁期まで 但し、収穫 75 日前まで	2 回以内		3 回以内 (休眠期は 1 回 以内、生育期 は 2 回以内)
	枝膨病 べと病 黒とう病 晩腐病	200 倍					
ぶどう	黒とう病 晩腐病 つる割病			75 日前まで 収穫終了後～ 落葉期まで	3 回以内		3 回以内
	そうか病	1000 倍					
おうとう	褐色せん孔病			100～300 ℓ	育苗期		2 回以内
いちご	炭疽病	200～700 ℓ		発病初期	3 回以内		3 回以内